

令和5年度
文部科学省・群馬県教育委員会委託
「人権教育研究推進事業」兼
地区別人権教育研究協議会
研究発表会

明和町立明和東小学校

本日の発表内容

I 研究の概要

- ・研究テーマ
- ・内容

II 具体的な取組

- (1) 道徳科を中核とした授業改善
- (2) 体験活動の充実
- (3) 教育課程の見直し
- (4) 人権集中学習

III 成果と課題

I 研究の概要

研究テーマ

主題

多様性を認め、
互いを尊重することのできる児童の育成

副主題

～自分や他の人のよさや思いを大切にした
伝え合う活動の充実を通して～

I 研究の概要

研究テーマ

〈目指す児童の姿〉

多様性を認め

→自分や他の人の長所や得意なことがわかる

→自分や他の人の短所や苦手なことがわかる

互いを尊重する

→自分や他の人の長所や短所を含めた、

そのままの姿を認め合い大切にすること

研究テーマ

多様性を認め、互いを尊重することのできる児童



自分や他の人の思いを大切にして伝え合う



自分や他の人の長所や得意なことがわかる
自分や他の人の短所や苦手なことがわかる

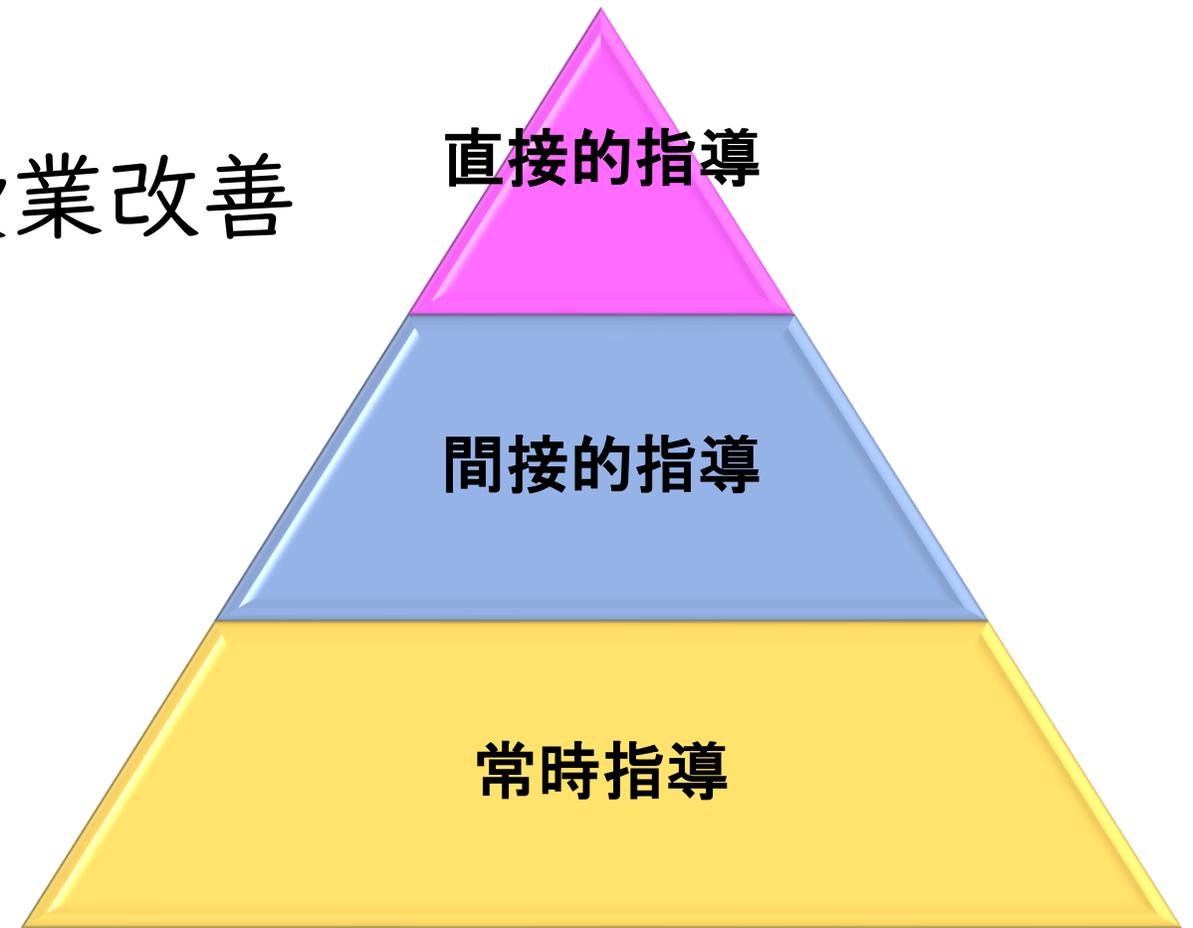
I 研究の概要 内容

(1) 道徳科を中核とした授業改善

(2) 体験活動の充実

(3) 教育課程の見直し

(4) 人権集中学習



人権教育の構造的指導

群馬県人権教育充実指針P37より

Ⅱ 具体的な取組

(1) 道徳科を中核とした授業改善(間) (直)

具体的な手立て「道徳科における発問の工夫を通して」

- ・道徳の授業作りについての研修
- ・多様な考えを引き出す発問作り

多様な考えを
引き出す発問
作り



模擬授業



Ⅱ 具体的な取組

(1) 道徳科を中核とした授業改善(間)

(直)



動作化

考えを揺さぶる
問い返し



児童の考えが
見える板書

話し合い活動

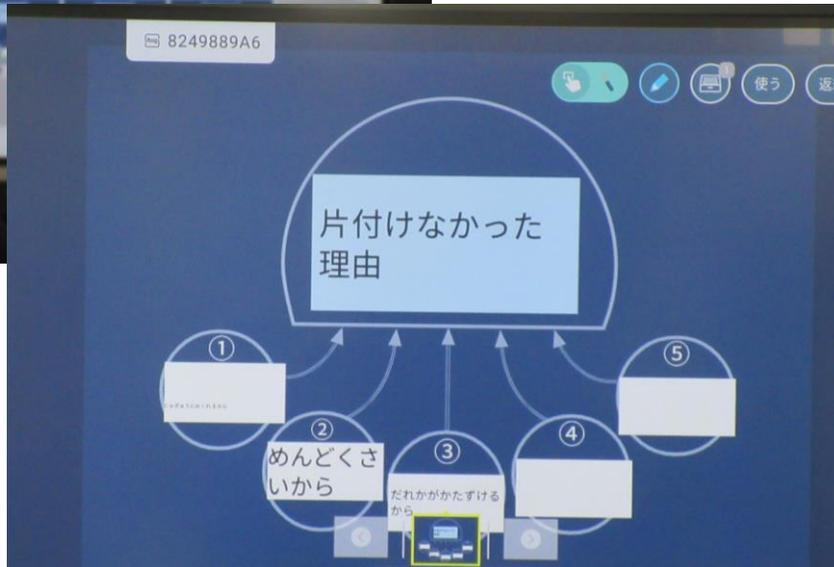


ICT活用



Ⅱ 具体的な取組

ICT活用



話し合い活動



Ⅱ 具体的な取組

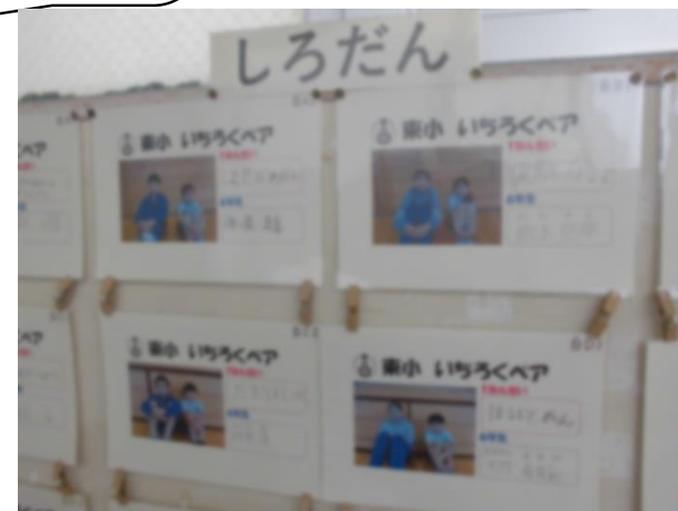
(2) 体験活動の充実 「たてわり活動」(間)

たてわりリーダー研修(5月)

いちろくペア(5月)

班のめあて
リーダーとして周りを見ながら
楽しく活動しよう。
(児童ワークシートより)

個人のめあて
下級生のめんどうをしっかりと見て、
楽しく活動する。
(児童ワークシートより)



Ⅱ 具体的な取組

(2) 体験活動の充実 「たてわり活動」(間)

たてわり交流・・・朝行事の時間にたてわり班で遊ぶ

特別ルール
1・2年生は、2回当
たった外に出るよ



じゃんけんでおにを
きめよう
上の学年と下の学年で
ペアになるよ



次は何の遊びを
やりたい?



Ⅱ 具体的な取組

(2) 体験活動の充実 「たてわり清掃」(常)

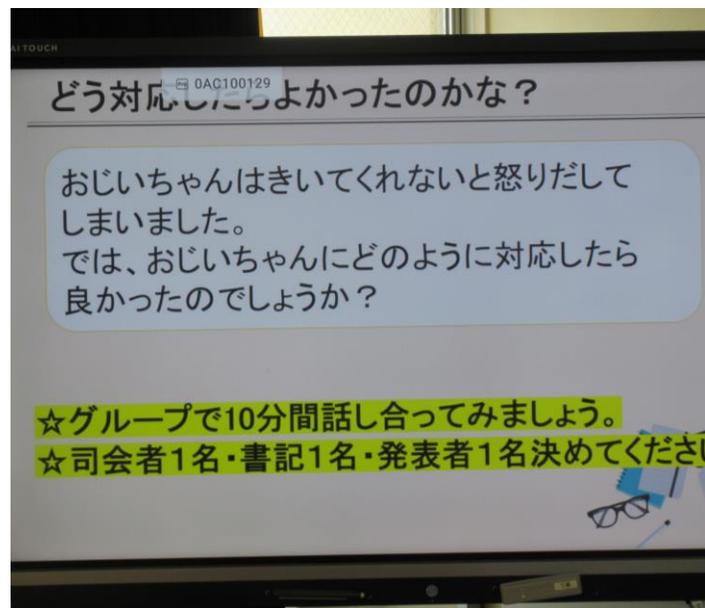
初めのあいさつ、掃除の役割分担、反省会を
班長中心に行う



II 具体的な取組

(2) 体験活動の充実 「総合的な学習の時間」(直)

認知症サポート事業(5年)



家族や身近な人が認知症になってしまったら、その人のできることをおうえんしたいです。
(児童ワークシートより)

認知症の人によりそい、理解しながら、助けたり話したりしたいと思います。
(児童ワークシートより)

II 具体的な取組

(2) 体験活動の充実 「人権教室」(直)

人権擁護委員さんによる人権教室(3年)



周りの大人や人権擁護委員さん
に相談したい
(児童ワークシートより)

自分も周りの人も大切にして
いきたい
(児童ワークシートより)

Ⅱ 具体的な取組

(2) 体験活動の充実 「情報モラル講習会」(直)

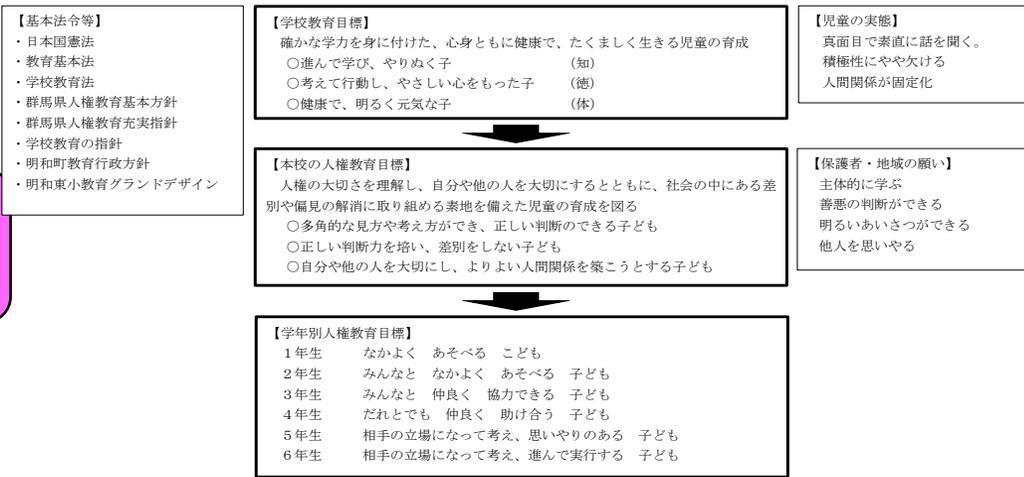
館林警察署の方による情報モラル講習会(6年)



II 具体的な取組

(3) 教育課程の見直し(直)

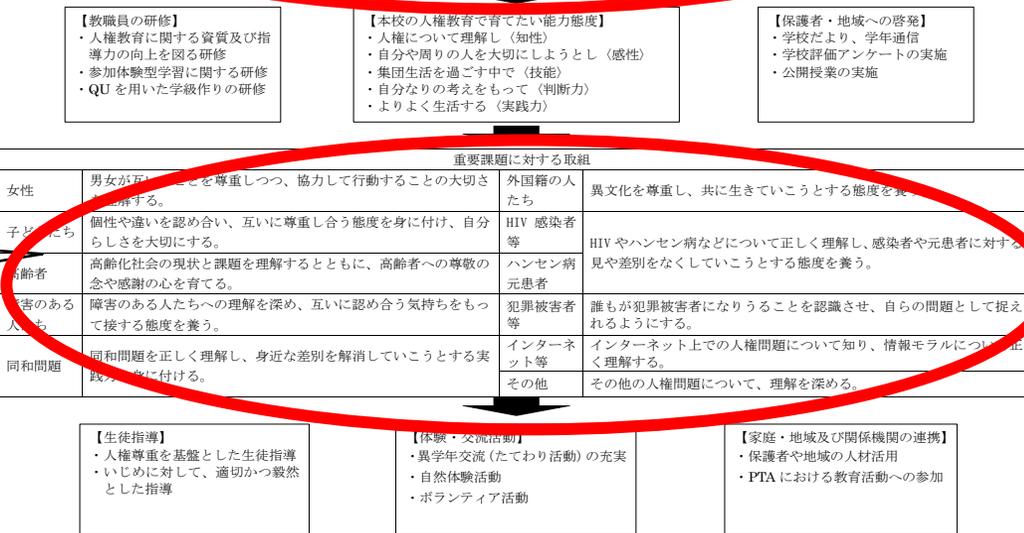
人権教育全体計画



人権教育上の取組を各教科等ごとに設定

教科	取組	教科	取組
国語	自分の考えを的確に表現する能力を高め、他者の考えや感情を正確に理解する能力を高め、豊かな感性を育てる。	体育	運動を通して健康な心身を育て、集団としての協調性・連帯性を育てる。
社会	社会生活についての正しい見方・考え方を培う中で、人権問題の現実や、差別の問題について理解し、正しい社会的判断力を育てる。	外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、互いに配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
算数	数学的なものの見方や考え方を通して、論理的思考や合理的な考えを養う。	道徳	人間の生き方を考えさせることを通して、互いに人格や人権を尊重する態度の育成と差別解消のための判断力・心情・態度を養う。
理科	科学的なもの見方や考え方を通して、問題解決の力、自然を愛する心情や生命を尊重する態度を養う。	特別活動	集団活動を通して、互いに助け合うことのできる人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。
音楽	合唱や合奏を通して、音楽に対する感性を高め、豊かな情操を育てる。	総合的な学習の時間	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、問題解決能力を育てるとともに自己の生き方を考えるための実践・能力を育成する。
生活	身の回りの人々や自然及び社会に課題意識をもって関わることにより、自分自身でできることは自分自身でし、優しい心で人や生き物や周りの環境を大切にしようとする態度を育てる。		

重要課題に対する取組を各課題ごとに設定



II 具体的な取組

(3) 教育課程の見直し(直)

職員室内に掲示
日常的に点検・評価
加除・修正を行う

人権教育年間指導計画(各学年)

→ 人権重要課題と、道徳授業・各行事との関連を図る

人権教育年間指導計画 (6学年) 明和東小学校

学年目標	相手の立場になって考え、進んで実行する 子ども												生徒指導	学校生活アンケート(毎月)
重要課題	①女性 ②子どもたち ③高齢者 ④障がいのある人たち ⑤同和問題 ⑥外国籍の人 ⑦HIV感染者等 ⑧ハンセン病患者等 ⑨犯罪被害者等 ⑩インターネット等 ⑪その他													
月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
各教科	帰りの道(国)② わたしたちのく わらわ(社)①② 見つけてみよう 生活時間(家) ①		病気の予防(保) ⑦		みんなで楽しく 通(国)② 通(国)②	世界の世から天 のへ(社) 戸府と政治 江(社)⑤ 江(社)⑤ ①	町い(社) 文化(社) ①	病気の予防(保) ② 学校へようこそ (国)①②	国を見る(国) ② メディアと人間 社会(国)③	命の命(国)② 日本や世界の音 楽に親しもう (音)⑥ 日本とつながり の国々(社) ⑥	今は、私は、ほく は(国)② 世界の未来と日 本の役割(社) ②			
道徳	A ま自身と ま自身と ま自身と		夢に向かって一 三希望(希望)② 三希望(希望)② 三希望(希望)②		医業(希望) 医業(希望)②	技術で障がい を(希望) 技術で障がい を(希望)②		実践的な一 百(希望) 実践的な一 百(希望)②	実践的な一 百(希望) 実践的な一 百(希望)②				勇たへの道徳 (道徳)の伸長 ②	
	B まのまの まのまの まのまの	松井さんの笑顔 (感謝)③	親子・ドクマ ン(相互理解) ①②		ボランティアと 互(相互理 解)①	ボランティアと 互(相互理 解)①		命の大切(親 切)③						
	C まのまの まのまの			かっこいいお父 さん(家族愛) ③①		これが日本(臣 尊)③	フーバーさん (国際人権) ②	「めぐみ」(担 当)①-2						
	D まのまの まのまの													
特別 活動	学級活動 6年生になって 学級の係活動 を(リーダー シップ)①	学級の係活動 を(リーダー シップ)①	いっしょくべ を(リーダー シップ)①	夏休みのすこ し	運動会を成功 させよう	修学旅行につ いて	卒業文集を作 る(休みのすこ し)	集いの会を 開こう	集いの会を 開こう	小学校生活を ふりかえって	卒業式に向け て			
児童会活動	1年生を迎える 会									6年生を送る 会				
学校行事	新入式・始業式 入学式・始業式 交通安全教室 交通安全教室	交通安全教室 交通安全教室	地震・火災避難 訓練(防災) 訓練(防災)①	卒業式	始業式(8月) 卒業式(5月) 交通安全教室 交通安全教室	修学旅行 人権教育 人権教育①	持久走大会 人権教育 人権教育②	卒業式	卒業式 卒業式	卒業式 卒業式	卒業式			
総合的な 学習の時間	【国際理解】 ○日本と関わりのある国を調べよう													
家庭・地域との連携	【地域文化】 ○日本の歴史、文化を調べよう<鎌倉を中心に>													
	【キャリア】 ○将来の夢について考えよう													



II 具体的な取組

(4) 人権集中学習(直)

人権集中学習を年2回実施

人権集中学習Ⅰ 6月26日(月)～6月30日(金)

①人権講話

②なかよし集会

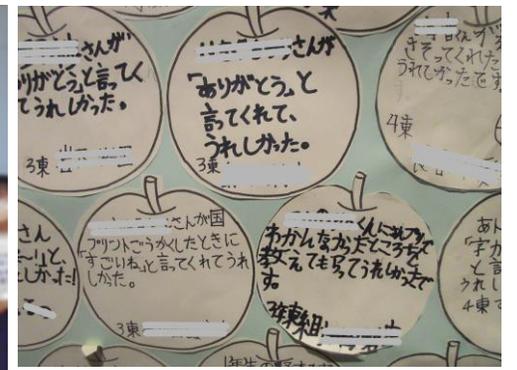
各学級のいじめ防止スローガンを発表

③ふわふわことば週間

ふわふわ言葉を意識して使い、帰りの会等で振り返る。言ってもらったふわふわ言葉や、してもらった感謝の気持ちを、「なしカード」に書く。

④参加体験型学習(エンカウンター)実施

⑤学校生活アンケート(毎月)



Ⅱ 具体的な取組

(4) 人権集中学習(直)

人権集中学習Ⅱ 10月23日(月)～11月8日(水)

①人権集会(1) 人権講話・人権標語の発表

②人権に関するDVD視聴や読み聞かせ

③人権作文

道徳授業やDVD視聴・読み聞かせを行った後、
人権に関する作文を書く。

④人権標語掲示

⑤ふわふわことば「なしカード」の記入

⑥人権集会(2) 人権作文の発表 1年～6年

⑦人権についてのアンケート(後期)、

学校生活アンケート



Ⅱ 具体的な取組

その他の常時指導

ふわふわことば

職員室前掲示



図書室

人権本コーナー設置



学級掲示物、児童作品掲示

教室・言語環境の整備
温かい雰囲気での学級経営



職員：人権教育常時指導チェックリスト

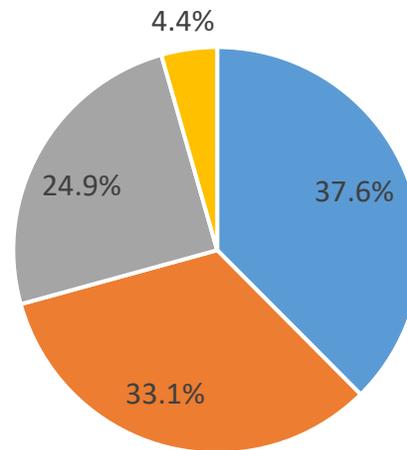
Ⅲ 成果と課題

〈成果〉 児童アンケートより

授業中に自分の考えを話したり発表したりできますか。

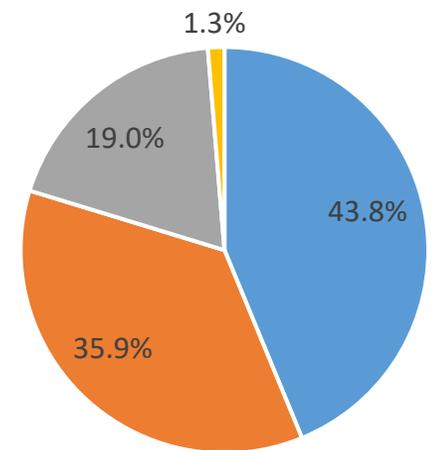
5月

ア できる	37.6%
イ どちらかといえはできる	33.1%
ウ あまりできない	24.9%
エ できない	4.4%



11月

ア できる	43.8%
イ どちらかといえはできる	35.9%
ウ あまりできない	19.0%
エ できない	1.3%

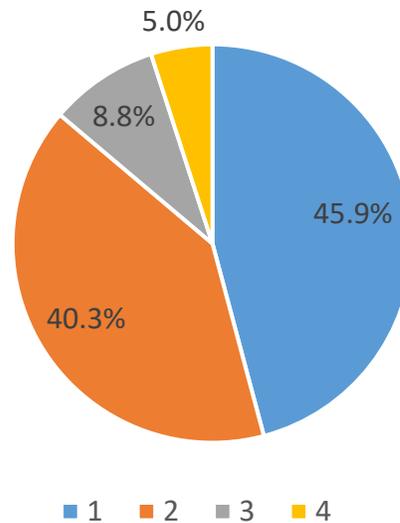


Ⅲ 成果と課題

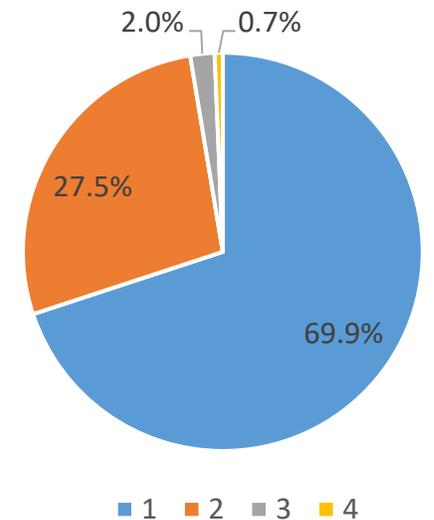
〈成果〉 児童アンケートより

自分の考えと友達の考えを比べ、「同じだ」「ちがっている」と考えますか。

	5月
ア 考える	45.9%
イ 時々考える	40.3%
ウ あまり考えない	8.8%
エ 考えない	5.0%



	11月
ア 考える	69.9%
イ 時々考える	27.5%
ウ あまり考えない	2.0%
エ 考えない	0.6%



Ⅲ 成果と課題

〈成果〉

○多様な考えを引き出す発問や話し合い活動の工夫を通して、他者との考えの相違を意識し、互いを認め尊重する児童が増えた。

○たてわり班を中心とした活動や、各教科と関連を図った体験活動とその振り返りを通して、児童が様々な人の立場に立って考えることができるようになった。

○教育課程の見直しを通して、全職員が人権教育を意識した教育活動に取り組むことができた。

Ⅲ 成果と課題

〈課題〉

- 様々な教育活動を通して児童の自己有用感を高め、互いに認め合い励まし合いながら成長する児童の育成を継続していく。
- 多様化する人権問題に対して意識を高め、家庭や地域との連携を図りながら人権教育を推進していく。

